

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2022年3月20日

小規模事業者・自営業者は「京都の宝」(市答弁)

ならば、「宝」にふさわしい支援策の具体化を

3月9日の市議会予算委員会で、井上議員が、小規模事業者とそこで働く労働者・自営業者・フリーランス等への、仕事と生活への支援策について市の基本的な考えを聞きまし

た。要旨を紹介します。

者への具体的な支援策の必要性重要性についての考えはどうか。

○産業観光局の答弁 重要な地域経済の担い手と認識している。

○地域を支えて頂いており、京都の宝だ。

●井上議員 市は、大企業も含めた「地域企業」などと言っているが、中小企業対策は必要で重要だと確認したい。その上で更に、中小企業一般ではなく、小規模事業者、自営業

者への具体的な支援策の必要性重要性について

○更に、そこで働く労働者の賃金労働条件の問題も、独自の課題だ。非正規の場合はもっと

○国・府等と連携して支援の取組を推進中。

●例えば社会保険料の事業主負担への支援、最低賃金の底上げ、労働者派遣法抜本改善、消費税減税、大企業や富裕層への適正課税等々、市長の発信はできる。府や国にもっと声を挙げるべき。終わる。

※ ※

○まず独自の特徴を明らかにすることが必要。

○更に、そこで働く労働者の賃金労働条件の問題も、独自の課題だ。非正規の場合はもっと

●では何から始めるか。実態調査が必要、施策の具体化が要る。独自の小企業・自営業者・労働者支援の方針書があるべき。区役所に担

○アンケートを実施。実態把握は必要。区役所との連携を図る。

①住居兼用の場合、地域活動の担い手でもある。②仕事だけでなく生活もある。家族も含め、健保や年金、税金、傷病、子育て、介護、住まいや地域の環境等々、課題は多い。③食料品や日常生活用品、必要なサービス等々の

住民の命と暮らしを守るべき市や府で、あり得ないことがまかり通っています。そのホンの一端を紹介します。

コロナの陽性の方や接触者の方、ご家族の皆さんなどに、保健所

「市が保育園への補助金を削るとの方針だが、私の保育園では具体的にいくら減らされるか分からない為に、この時期に及んで、4月からの予算も保育方針も立てられない。職員も採用していいのかわるか？」 (保育園の園長先生)

「たくさんの携帯電話を使っている。翌日、その電話に市民が掛けてきても、電話は毎日違う職員が使うので経過が分からない」「職員が500人もおり、細分化されて全体が見えない」 (保健所職員)



重税反対全国統一行動

3月11日、重税反対全国統一行動が開かれ、連帯の挨拶をさせていただきました。

陽性者及び濃厚接触者の方へ療養期間及び待機期間の解除連絡は、保健所からは行わない取り扱いとなっております…、ご自身でご判断頂く(10日間または7日間等、何ともなければ) (市の文書より)

「検査キット等…がひっ迫、国から、有症状者への検査を優先、無症状者の検査は、当面、件数を制限するよう通知があった。府においても、検査の件数を制限、当面の間、府民の皆様にはご希望に添えない場合がございます…ご理解ご協力を…」 (京都府の文書の要旨)

「検査キット等…がひっ迫、国から、有症状者への検査を優先、無症状者の検査は、当面、件数を制限するよう通知があった。府においても、検査の件数を制限、当面の間、府民の皆様にはご希望に添えない場合がございます…ご理解ご協力を…」 (京都府の文書の要旨)